

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年11月19日

計画の名称	高松市大工町・磨屋町地区第一種市街地再開発事業整備計画													
計画の期間	令和04年度 ～ 令和05年度（2年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	高松市													
計画の目標	中心市街地活性化基本計画エリア内において、市街地再開発事業により都市機能の更新、魅力ある都市空間や住環境の整備等を、地元まちづくり活動との連携のもと推進し、快適で魅力ある中心市街地の再生を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		88	A	88	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初		R5末
1	丸亀町商店街の歩行者等通行量を21,898人／日に増加させることで、商店街のにぎわい創出を図る。			
	丸亀町商店街における歩行者等通行量	21586人／日	人／日	21898人／日

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	高松市	間接	高松市大工町・磨屋町地区市街地再開発組合	－	－	高松市大工町・磨屋町地区第一種市街地再開発事業	敷地の共同化：0.5ha、都市型住宅等の整備	高松市	■	■				88	1.1	－	
											小計						88			
											合計						88			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

令和7年度第5回香川県公共事業評価委員会において評価を実施

事後評価の実施時期

令和7年11月7日

公表の方法

高松市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

1階、2階には医療施設、薬局のあるクリニックモールを、3階に住宅用駐車場、4階から11階は共同住宅（55戸）を整備し、居住人口を増加させ、地域医療を担い、さらなる住環境向上を促進させるものになっている。また、先行する再開発事業との相乗効果により中心市街地が活性化され、商店街の通行量増加に繋がった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

おもちゃ美術館の整備及び子育て世帯等の暮らしに資する医療施設や地域子育て支援拠点を整備したことで、にぎわいの創出や街なか居住の促進に繋がり、中心市街地の活性化に寄与している。また、建築物の更新により防火・耐震性能の向上が図られ、本市中心部における持続可能で賑わいと活力あるまちづくりに併せて、安全・安心なまちづくりに寄与している。

○特記事項（今後の方針等）

本計画の事業は完了となるが、引続き中心市街地の活性化やにぎわいを創出するため、丸亀町商店街で計画されている再開発事業の推進を図る。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	丸亀町商店街における歩行者等通行量		
	最 終 目標値	21898人／日	コロナ禍による外出の自粛などを受け、計画期間の終了時に至るまで厳しい状況が続くと想定していた。 現在、歩行者等通行量はコロナ禍前の状況に概ね戻ってきている。
	最 終 実績値	25813人／日	